

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(771)7218
担当部課名	管理部	学校保健	課	清新学校給食センター
事務事業名	施設維持管理費(ボイラー運転委託)		事業コード	14121

1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	人間性豊かな子どもを育成します	事業開始年度
基本施策名	第1節	ゆとりある学校教育の創造	~63 年度
施策名	第2施策	小・中学校教育の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

学校給食施設、設備整備方針、文部省「学校給食衛生管理の基準」(平成9年4月1日)

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
毎日の調理に必要な熱源としてのボイラーのお湯・蒸気は給食の円滑な提供に不可欠である。		受入校5校と応援校の児童・教師等	
		対象数	約3,800人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
年間稼働日数 220日(給食日数180日) 決算額 4,705,659円		無	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

4 評価指標

指標名	稼働率		
指標式	稼働日数 / 稼働予定日数		
指標設定の意図			

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	100	100	a 100	b 100	100
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	4,622	4,822	4,706	5,037
	人員・時間数	17H	17H	17H	17H
	人件費	72	72	72	72
	その他経費				
	合計	4,694	4,894	4,778	5,109
特定財源					

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価	A : 達成している (100%) B : 一部達成していない(100%> 80%) C : 達成していない (80%>)	= 、 、 の平均値 = 100.0%
$\frac{a}{b}$	$\frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$
		$\frac{e}{f} \times 100 =$
理由 :		
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価	A : 適応している B : 一部適応していない C : 適応していない	理由 : 清潔で衛生的な給食には不可欠である。
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価	A : 妥当である B : 一部妥当でない C : 妥当でない	理由 : 派遣されている職員の時間外勤務は特別な場合を除いてほとんど無く、効率的に稼働されている。
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価	A : 代替の可能性ない B : 代替の可能性低い C : 代替の可能性高い	理由 : 既に委託されている。
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価	A : 満足できる B : 一部満足できない C : 満足できない	理由 : 衛生的で美味しい学校給食に、児童・教職員も満足している。
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価	A : 有効である B : 一部有効である C : 有効でない	理由 : 児童への安全で美味しい給食を提供するためには不可欠で有効性も高い。

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p>
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> <p>入札によりコスト改善の余地有</p>

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--